



TAKATSU NETWORK

医療法人社団 亮正会 総合高津中央病院  
川崎市高津区溝口1-16-7 TEL 044-822-6121  
http://www.takatsuhosp.or.jp

新

# 高津中央病院だより

(財)日本医療機能評価機構認定病院

2019年◆新春号(2019年1月発行)

Vol.63

## 季節の写真館 「新年の川崎大師」



### 総合高津中央病院 理念・基本方針

#### 理念

医療を通じて地域社会に貢献します

#### 基本方針

1. 地域の皆様に愛される病院、親切、迅速、奉仕について最善の努力をします
1. たゆみない研鑽と医道の高揚に努め、安全で質の高い開かれた医療の提供をめざします
1. 地域の救急医療に全力で対応します
1. 保健、福祉の全面的な支援を行います

## 巻頭言

### 2019年 新年のご挨拶

病院長 小林 進



新年明けましておめでとうございます。みなさまにおかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、当院では心臓血管センターを2015年4月に立ち上げ、4年が経過しました。一昨年12月からは血管撮影装置を新たに1機導入し、現在は血管撮影装置2機体制で診療を行っており、循環器疾患(特に心筋梗塞)に関しては24時間365日対応できる体制が更に充実いたしました。また夜間、休日救急は内科、外科または整形外科、産婦人科、循環器内科、小児科の5人体制で当直を行っております。さらに一昨年9月から救急専門医に入職していただき、救急体制の充実を図ってきた結果、昨年は救急搬送件数が著明に増加し、当地区の救急医療に今まで以上に貢献できたと考えております。また、昨年10月には当院に41床の地域包括ケア病棟を立ち上

げました。地域包括ケア病棟は急性期医療を終了した患者さまの在宅復帰支援や、レスパイト等在宅療養中の患者さまを支援することで、地域包括ケアシステムを支える役割を担う病棟です。超高齢化社会を迎え、国は「病院完結型」医療から、自宅や地域で治す「地域完結型」の医療への政策転換を進めています。同病棟ができたことで、当院ではこれまで以上に保険、医療、福祉の3分野を統合したトータルな医療サービスをみなさまに提供していきます。

今後も地域のみなさまが安心、納得して診療を受けられ、退院後も住み慣れた地域で療養、生活できる取り組みを推進していく所存です。「医療を通じて地域社会に貢献」という当院の理念にそって職員一同頑張っていきますので、どうぞよろしく願いたします。

## 地域医療連携懇談会のご報告

患者支援・医療連携センター 土谷吐夢

去る、11月9日（金）ホテル KSP にて、総合高津中央病院「地域医療連携懇談会」を開催しました。今回は参加人数 153 名と過去最高のご出席を賜り盛大な会となりました。

本会は二部構成で開催されました。

### 【第一部 講演会】

はじめに、救急科の木邑医師が「当院救急外来の現状」について講演いたしました。

当院は平成 27 年 4 月に「心臓血管センター」を開設し、24 時間 365 日「断らない救急」を掲げ、救急応需率アップに力を注いでまいりました。平成 29 年 9 月に木邑医師が着任してからは、救急搬送件数は平成 26 年度と比較し 5 年間で約 2 倍に増加しています。

当院は中規模病院ではありますが、24 時間 365 日、小児科／産婦人科／外科／内科／循環器内科と 5 科の当直体制をとっています。院内の見通しが良く、他科との連携がとりやすいこと、迅速な検査や手術が可能であることも PR しました。

「腹痛」と一言でいっても実際には急性虫垂炎や大腸がん、総胆管結石であることもございます。稀ではありますが、「心筋梗塞」や「婦人系疾患」



であることもございます。内科系疾患なのか外科系疾患なのか診断がつきにくい患者さま、精密検査や高度な治療が必要な患者さまがいらっしゃいましたら専門医のいる当院にぜひご紹介ください。

### 【第二部 懇談会】

懇談会は、高津区役所保健福祉センター所長浅見政俊先生よりご挨拶を賜り、高津区医師会長鶴谷孝先生（つるや内科クリニック院長）による乾杯のご発声とともに開宴しました。

会が始まりお酒も入って和やかな雰囲気になってきた頃、当院の各科と医師の紹介を行いました。開業医の先生と当院の医師とが互いに得意な診療科目を紹介し合い、地域の介護関係者と当院の医療ソーシャルワーカーが医療連携について語らうなど、各所で活発な意見交換がなされておりました。

平成 30 年 10 月 1 日からは当院に 41 床の地域包括ケア病床が誕生いたしました。急性期の治療を終えた方が在宅復帰に向けて準備をする病床ですが、レスパイト入院の受け入れの機能も持ち合わせております。開業医の先生やケアマネジャーからは「そんな病床ができるのを待っていた」と期待の声が寄せられました。高齢化が進む地域のニーズに応えられるよう院内一丸となって体制づくりを強化し、運用に向けて準備を進めてまいります。

今後も地域住民の身近にあり、24 時間 365 日子どもから高齢者まで幅広く相談に応じることのできる総合的な医療の提供を目指し、院内外の連携をより一層図ってまいります。

末筆ながら、ご多忙にも関わらずご出席賜りました来賓の皆さまには、心より御礼申し上げます。今後とも総合高津中央病院をよろしく願いいたします。

## 川崎フロンターレ 慰問

庶務課 森田勇二

2 月 19 日に川崎フロンターレの選手がブルーサンタとしてクリスマス慰問に来院されました。川崎フロンターレは皆さまもご存知のとおり J1 リーグ連覇や 2018 年の最優秀選手賞・ベストイレブン・最優秀ゴール賞のタイトルを数多く獲得した川崎市を代表するチームです。

ブルーサンタとは、スカイブルーのサンタクロースに扮した選手がケガや病気で闘っている子どもたちを少しでも笑顔にできるようにと、1997 年の創立時から行われている川崎市市内各病院の小児病棟を慰問するイベントです。



当院へは今回で 5 回目の慰問となり、今回は、日本代表にも選抜された注目のルーキー守田英正選手にお越しいただきました。

トナカイの帽子を被ったふ

ろん太君やモミの木に扮したスタッフの方が続いてチームカラーのブルーに着飾った守田選手が登場し、子どもたちだけではなく大人までもが大興奮。

会が始まり、皆でクリスマスソングを合唱し、守田選手からプレゼントを受け取った子どもたちからは「ありがとう！」との元気な返事があり、その後、子どもたちから守田選手にサプライズでメダルがプレゼントされ、守田選手はびっくりしながらも大変喜んでくれていました。

会に参加できなかった子どもたちへは各病室を回って直接プレゼントを渡していただき、最後に皆で記念撮影をして慰問は終了となりました。

短い時間でしたがとても盛り上がったクリスマス慰問となりました。守田選手・スタッフの皆さま大変ありがとうございました。今年の活躍と次回の慰問を楽しみにしております。



# 高津中央インフォメーション

## キャンドルサービスを行いました



看護部 吉田真紀子  
運営担当：手術室・人工透析センター・外来

昨年12月21日の夕刻、看護部主催で恒例のキャンドルサービスを行いました。院内にクリスマスソングが流れる中、高津看護専門学校の学生のみなさんの協力を得て、サンタクロースとともに患者さまのもとへ訪問させていただきました。

サンタクロースと看護学生、スタッフとともにキャンドル

を灯しながら患者さまの部屋に訪問し、クリスマスカードとお花をプレゼントして、患者さまおひとりおひとりと記念撮影をさせていただきました。患者さまみなさまにとっても喜んでいただき、素敵な笑顔で写真を撮ることができ、面会にいらしたご家族からもとても喜んでいただきました。

毎年恒例の行事ではありますが、私たちも患者さまから素敵な笑顔のプレゼントをいただいております。



## \*糖尿病教室のお知らせ\*

平成30年度の「糖尿病教室」は6月、9月と2回開催され、たくさんの質疑応答があり充実した内容でした。そして2月には、第3回目の糖尿病教室が下記の日程にて開催されます。

2月の食事療法のワンコインランチは都合によりお休みさせていただきます。血糖値の気になる方、療養中の方、ぜひ一度糖尿病教室へいらっしやいませんか。私たち糖尿病教室開催チームがサポートいたします。

2月2日・9日・16日・23日  
14:00～15:30

- ・2月2日（糖尿病診断と治療・合併症について）
- ・2月9日（日常生活について・お薬について）
- ・2月16日（運動について・食事について）
- ・2月23日（検査について）



問い合わせ先  
TEL 044-822-6133 栄養部

## ◆川崎市・災害時病院連携訓練 開催される！◆

防災対策委員長・事務部長  
藤原良則

昨年11月25日（日）、「保健医療調整本部」（川崎市役所災害対策本部内に設置）と川崎市中部（幸区・中原区・高津区）の病院・クリニックが参加した病院連携訓練が開催され、総合高津中央病院も積極的に参加いたしました。

### 【訓練想定】

- ①首都直下型地震（震源地：東京湾北部 M7.3）が発生
- ②川崎市全域で震度6強を観測
- ③市内各地でライフライン途絶等発生。全市を挙げて復旧活動が行われている状況
- ④発災6時間後を想定

### 【訓練方法】

訓練コントローラー（川崎市から派遣された訓練調整員）から、想定シナリオが次から次と付与され、その都度当院が対処していくブラインド方式で行われました。

### 【当院・災害対策本部の設置】

本部長・中村副院長、本部長補佐・木邑救急担当医（DMAT）の指揮のもと、各担当が慣れない中でも、本番モードで臨み懸命に対応しました。

### 【今回の配置担当】

本部長／本部長補佐／診療指揮搬送担当／情報担当／クロノロジー担当／ロジスティック担当／連絡担当／伝令担当

### 【使用した機器類】

災害時優先電話／MCA無線（市と各災害協力病院用）／電子カルテ（モバイル）／トランシーバー／非常用バッテリー／パソコン（EMIS）等

### 【現在の災害時用備蓄等】

非常用食糧（患者さま＋職員）3日分／医薬品備蓄3日分／自家発電機5台



## 小児科のご紹介



主任小児科部長・副院長 星 義次

今、日本では「2025年問題」すなわち2025年には国民の3人に1人が65歳以上に、5人に1人が75歳以上という「超高齢化社会」を迎えるという問題を抱えています。老人が増え若者の割合が減る。それに伴い厚生労働省の推計によれば2025年の医療保険給付の総額は54兆円まで膨れ上がると試算されています。今後若ものの割合が減り国力が衰えていくことが予想される日本ではすでに「破綻シナリオ」なるものが飛び交っています。その対策の1つとして国は医者を減らしさらには病院を減らす真逆の対策を行っています。

老人対策と少子化対策（弱者対策）は表裏一体の問題であります。

日本の場合、多くの人は実は結婚と出産を望んでいるといわれています。保育所を増設することや医療費を無料にすることも1つの手段ではありますが、同時に健康なお年寄りを増やすことや安心して子どもを生んで育てられる環境をつくることはもっと大切なことです。子どもも孫も国民全員が健康で元気で

なければなりません。病院から小児科が消えていかざるを得ない国策はこの国のさらなる衰弱に拍車をかけてしまいます。外国人労働者も多少は必要ですが本質的には真の国力を充実させる対策が必要なのです。時間はかかるが、まず出生数を増やし若ものの人口を増やすことが究極の解決策なのです。

我々小児科医は子どもがみんな健康な大人に成長することを願って日々診察・治療を行っております。

当院小児科には一般診療のほかにそれぞれの専門医による専門外来であるアレルギー外来（火曜日午後）・内分泌外来（水曜日午後）・心臓外来（木曜日午後）があります。また予防医学の一環として検診（1ヵ月・3ヵ月・7ヵ月・5歳児検診）と予防接種外来があります。

特殊外来とはなっていませんがストレス社会が原因と思われる不登校や近年増えている不定愁訴で悩む子どもたちに対しても相談にのっております。

一般外来以外は原則として予約診療となります。

また、日曜日および祝日や土曜日の午後は時間外診療として救急外来にて診療を行っております。



### 個人情報保護方針

情報社会において、個人情報の保護は非常に重要な課題です。

総合高津中央病院では、個人情報を適切に管理することを社会的責務と考え、個人情報保護に関する方針を以下のとおり定め、職員及び関係者に周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めます。

#### ① 個人情報の収集・利用・提供

個人情報の保護・管理する体制を確立し、適切な個人情報の収集、利用および提供に関する内部規則を定め、これを遵守します。

#### ② 個人情報の安全対策

当院では個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざんおよび漏洩などに関する万全の予防措置を講ずること

により、個人情報の安全性・正確性の確保を図り、万一の問題発生時には速やかな是正対策を実施します。

#### ③ 個人情報に関する法令・規範の遵守

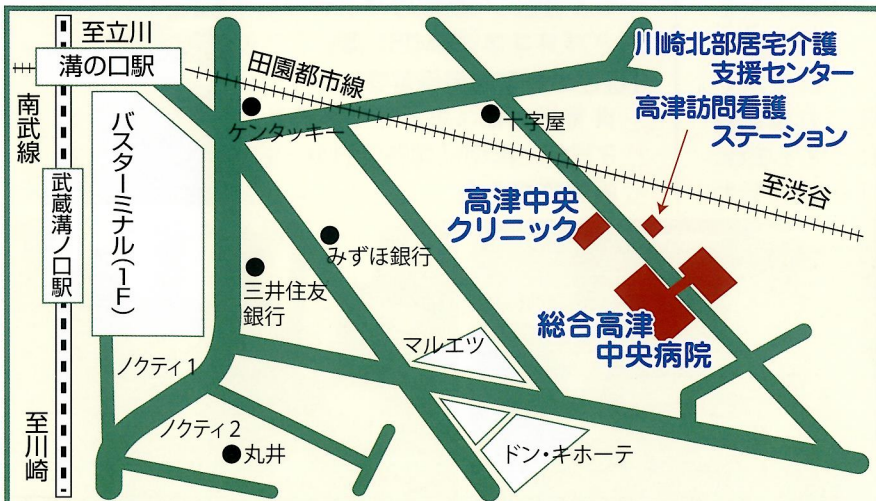
当院では個人情報に関する日本の法令、国の定める指針その他の規範を遵守します。

#### ④ 教育および継続的改善

個人情報保護体制を適切に維持するため、職員の教育・研修を徹底し、内部規則（主に運用ルール等）を継続的に見直し、改善します。

#### ⑤ 診療情報の提供・開示

診療情報の提供・開示に関しては、別途、当院個人情報管理規定に定めます。



- ▶ 総合高津中央病院  
川崎市高津区溝口 1-16-7  
TEL (044) 822-6121 (代)  
<http://www.takatsuhosp.or.jp>
- ▶ 高津中央クリニック（健診）  
川崎市高津区溝口 1-16-3  
TEL (044) 822-1278 (代)  
<http://www.takatsuhosp.or.jp/clinic/>
- ▶ 川崎北部在宅介護支援センター  
川崎市高津区溝口 1-17-5  
TEL (044) 822-6159
- ▶ 高津訪問看護ステーション  
川崎市高津区溝口 1-17-1  
TEL (044) 822-1287